



ROTARY WORLD

迅速な救援活動

米国アイオワ州の洪水被災者に対し、シニアリーダーズのロータリアンが迅速な救援にあたりました。写真は、米国ミシシッピ州のグリーンベルト・ロータリー・クラブから寄贈された救援物資を満載したセミトレーラーから荷降ろしをする様子。1ページを参照。

最新出版物の紹介

「クラブ役員キット」(225-JA) \$10: 7つの出版物のセット。各出版物を個別にご購入いただくことも可能です。「クラブ会長要覧」(222-JA) \$3、「クラブ幹事要覧」(229-JA) \$3、「クラブ管理運営委員会の手引き」(226A-JA) \$1、「クラブ会員増強委員会の手引き」(226B-JA) \$1、「クラブ広報委員会の手引き」(226C-JA) \$1、「クラブ奉仕プロジェクト委員会の手引き」(226D-JA) \$1、「クラブ・ロータリー財団委員会の手引き」(226E-JA) 無料。

「End Polio Now」グリーティング・カード(983): 「End Polio Now」の画像が入った6種類の色刷りカード。12枚セット。\$10

「平和はきっとかなう: 国際問題研究のためのロータリー・センター」(829-DVD): ロータリー・センターの学友が人権を推進し、テロリズムと闘い、救援活動を改善していく様子を収めたDVD。再生時間6分間。\$15

「ロータリアンのためのプログラム手引き: 国際親善奨学金および大学教員のためのロータリー補助金」(012-JA): 2つのプログラムの推進、的確な候補者の選考、奨学生や大学教員の受け入れ、学友との交流とその継続などに関する情報を収めたCD。各奨学金小委員会委員長に2部送付されます。1回の注文につき2部まで。無料。

「ProjectLINK提出書式: 支援が必要なプロジェクト用」: 資金、ボランティア、寄贈物資、あるいはロータリー財団マッチング・グラントの協同提唱者を必要とするプロジェクトがProjectLINKに情報を掲載するための書式。ウェブのみ。

「ロータリー世界平和フェロシップ・パンフレット」(084-JA): 参加候補者やロータリアンを対象に、ロータリー世界平和フェロシップ・プログラムの目標、必要条件、財源、申請手続に関する情報とロータリー・センターに関する説明を提供するパンフレット。部数限定。無料。

「RVM: ザ・ロータリアン・ビデオ・マガジン 第4巻第1号」(505-08): ミラクル・リーグ、米国アイオワ州の洪水後の救援活動、職業研修、ロータリー・プログラム学友への会員勧誘といった話題を収録したDVD。\$15



ご注文はshop.rotary.org、Eメール(shop.rotary@rotary.org)、または日本事務局資料室まで。電話(1-847-866-4600)もしくはファックス(1-847-866-3276)でもご注文いただけます。お支払い確認後にご注文の品が発送されます。

ロータリー世界各地から

シンガポールの青少年音楽祭 7月、第3310地区のロータリーEクラブとサンテク・シティ・ロータリー・クラブが「Youth Life Ownership」と協同で、「Rock It 2008」を開催しました。2日間にわたるイベントには国内の14歳から18歳までの青少年800名が参加し、音楽演奏を中心に、スポーツや各種相談を行ったり、地元の起業家25人を招いてキャリアについて話を聞いたりする機会となりました。30人以上の青少年に奨学金が提供され、100人以上のロータリアンが参加しました。5つのクラブから集まったローター・アクターやインター・アクターもイベントを手伝いました。

ペルーの人々に笑顔を ケイマン諸島のグランド・ケイマン・サンライズ・ロータリー・クラブから派遣されたチームが、ペルーで約350人に歯科医療を提供しました。グループのリーダーはクラブ会員で歯科医のパート・タッカーさんで、2005年以来、アマゾンとアンデス山脈周辺の村々を巡って3度目の訪問となります。6月、9日間で4つの村を回り、仮設の診療所で白歯を治療したり、抜歯を行ったり、虫歯予防のケアを行ったりしました。クラブは、歯科医療関係者とロータリアンのボランティア

から成るチームを2つ作り、村人が年に2回診察を受けられるように計画しています。

グアテマラに安全な調理用レンジを提供 5月、米国ワシントン州セドロ・ウーリー・ロータリー・クラブの会員がグアテマラのサンノゼ・マクスバルに4日間滞在し、村の64世帯に薪を使う調理用レンジを設置しました。調理用レンジのパイプを屋外につなげて室内の空気汚染を防ぎ、粘土製の火室で効率よく薪を燃やします。ロータリアンはまた、非政府組織「Hands for Peacemaking Foundation」と協同でプロジェクトを行うワシントン教会のメンバーが作ったキルトを住民に届けました。



今年、新たに

会員増強ビデオセット

会員候補者のためのDVDと新会員のためのDVDを、セットでご用意いたしました。

ご注文はお早めに。



ROTARY INTERNATIONAL

(427, \$10)



特集記事

国際的な音楽合宿を通じた和やかな青少年交換

5



非暴力の社会を築くために全力を注ぐ元平和フェロー

6



ロータリーの1億ドルのチャレンジを支えるクラブ財団

7



国際大会の講演者紹介

子供の権利提唱者である女優のミア・ファローさんと霊長類学者で人道活動のジェーン・グドール博士が、英国、バーミンガムで開催される2009年RI国際大会で基調講演を行います。また、南アフリカのデズモンド・ツツ元大主教が、大会前の平和シンポジウムで講演を行います。

3ページを参照。



Rotary Images

去る6月に米国、アイオワ州で発生した洪水により、2万5千人が家を失いました。シーダーラピッズ地域ロータリー・クラブ会長委員会は、政府から十分な支援を受けられなかった洪水被災者に迅速な援助を提供しました。

クラブ同士の協同関係が洪水被災者に迅速な援助をもたらす

6月の記録的な洪水で大被害を受けた米国、アイオワ州のシーダーラピッズの被災者を、地元の複数のロータリー・クラブが一体となって迅速かつ効率的に援助できたのは、クラブ間でこれまでに築きあげてきたユニークな協同関係があったからでしょう。

包括的なプロジェクトに協同で取り組み、地元にもさらに貢献していくことを目的とした「シーダーラピッズ地域ロータリー・クラブ会長委員会」は、ロータリー生誕百周年の2004-05年度に結成されました。市内の7クラブの会長、副会長、直前会長から構成される同委員会は、月に一度会合を開き、現在と今後の奉仕活動について話し合っています。

2008年の初めに、クラブが自転車用道路の舗装プロジェクトを完了した後、同委員会は、次に着手する大規模な活動を探し

ていました。そこへ、大洪水が発生したのです。

洪水によって、約2万5千人の住民が家を失いました。「シーダーラピッズ市内のクラブ間で結ばれた協同関係によって、援助の基盤が既にできていたのです」と話すのは、シーダーラピッズ・ウエスト・ロータリー・クラブ会長のデニス・グリーン委員長です。

同委員会は、助成基金を即座に設立し、数々の機関と協力して、政府やその他の組織が満たせなかったニーズを調べました。助成金は、救援、復興、再建の3つの活動に割り当てられました。

助成金の一部は、被災家族に提供する洗濯機、乾燥機、冷蔵庫、コンロなどの家庭用電化製品100品以上を購入するために使われました。これらの家庭用品の分配は、くじ引きによって決められます。

グリーン氏は、クラブ同士で協同関係を結んでも、個々のクラブの独自性が希薄になることはないと言います。それは、各クラブが独自の奉仕プロジェクトも行っているからです。

世界のほかの都市でも、自然災害などのような危機が起きたときには、クラブ間の協同関係が不可欠となるかもしれません。「年々、政府から支援を得ることが難しくなっています。このようなときに、ロータリーの役割が重要になってくるのです」とグリーン委員長。「ロータリー内のこのような協同関係のおかげで、シーダーラピッズの再建に効率的に取り組むことができます」

アイオワ州の救援活動に関する詳細は、「RVM:ザ・ロータリアン・ビデオ・マガジン第4巻、第1号」(505-08)をご覧ください。

ファーマがロータリーのポリオ撲滅に貢献

世界からポリオを撲滅するというロータリーの最優先事項を支援するため、米国研究製薬工業協会(ファーマ、PhRMA)がロータリー財団に10万米ドルの寄付を行いました。この寄付は、「ロータリーの1億ドルのチャレンジ」の目標達成に役立てられます。

ファーマは、米国で医薬品研究開発やバイオテクノロジーを扱う先進企業を代表する業界団体です。

「持続可能な医療を人々が受けられるよう、革新的で信頼性の高いアプローチの開発を目指し、当協会はロータリーと密接にかかわっています」と話すのは、ファーマの国際協力部門の副部長を務めるクリス・ワード氏です。「治療法を発見し、世界中の保健全般を改善したいという願いが、私たちの産業を動かしています」

この目標の達成に向けて模範的な活動を行っているのが、世界からポリオをなくそうとしているロータリーだと、ワード氏は言います。「ロータリーが主導する公共と民間の協同活動は、ボランティア精神と社会奉仕の精神に基づいています。ファーマは、そのロータリー・チームの一員であることに誇りを感じています」

経口ワクチンの2大製造会社、ノバルティスとサノフィ・アベンティスも同協会のメンバーです。3月、ローマでアルベルト・サビン博士記念公園の除幕式が行われた後、サノフィ・アベンティスのワクチン開発部であるサノフィ・パスツールとノバルティスが、ポリオ・プラスへ4,600ドルを寄付しました。この記念公園は、ロータリーの



イタリアのロータリー・クラブからの代表が、ローマで開催されたサビン博士記念公園の除幕式に参加しました。

名誉会員であったワクチンの開発者、サビン博士への敬意のしるしとして、ローマ市が設立したものです。

1979年、イタリアのロータリー・クラブが、フィリピンの子供たちをポリオから守るため、50万人分の経口ワクチンを供給しました。この大きな成功を受けて、国際ロータリーは、5年間にわたりフィリピンの600万人の子供に投与するに十分なワクチンを供給することを約束しました。これが、後にポリオ・プラスの誕生のきっかけとなった、最初の「保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)補助金」によるプロジェクトでした。

会長メッセージ

貧困を断ち、夢をかたちにするために 子供たちに教育を

避けられるはずの原因により子供が死亡している現状に光を当ててみて明らかになったこと、それはすべて貧困に起因しているという事実です。

10億人余りの人々が、1日1米ドル以下で生き延びなければならない極貧生活に甘んじています。この「極貧」の定義は、1日の生活費を1993年の1ドル8セントに定めた世界銀行の基準に基づくものです。実際の購買力、つまり、各国の食糧や消耗品の値段に対して国民が払える金額が反映されています。

換言すれば、飢えをしのぐために一斤のパンすら買えないという肉体的な限界に日々直面している人々が、10億人以上存在するという事なのです。

私たちに、想像を絶するような生活であると云わざるをえません。しかし、私たちが当たり前のごとく手にしている生活必需品の多くを入手できずに暮らしている人々がいることは想像できるのではないのでしょうか。

はしかや肺炎のような病気を死に至らしめるのが貧困です。十分な食糧がまかなえなければ、医療費が払えるはずはないのです。そして栄養失調に陥った子供は、子供なら誰でもかかるごく普通の病気でさえ、こじらしてしまう可能性が高まります。

この貧困と病の連鎖を断ち切る唯一の道は、教育をおいてほかにありません。

このことをロータリーの私たちは理解しているからこそ、水、保健および飢餓、識字が今年度の強調事項として掲げられているのです。子供の死亡率を減らし「夢をかたちに」することを目指すなら、安全な水、栄養価のある食糧、基本的な医療といった差し迫った問題だけでなく、子供たちとその子孫にいたるまでを貧困から救う手段となる教育に、私たちは力を注いでいかなければなりません。



D. K. Lee

李 東建

リンクの紹介

ロータリーの理解推進と会員増強に ウェブリソースを生かす

地域住民のみならず、おそらく新しいロータリアンの中には、ロータリーの理想を真に理解してなくても、ロータリーについて、ある程度の知識を持っている、という人がいるのではないのでしょうか。RIでは、1月のロータリー理解推進月間をはじめ、年度を通じて利用できるリソースをいくつかご用意しています。ロータリアンは、これらのリソースを使って、他者への奉仕、高い倫理基準の促進、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じた世界理解、親善、平和の推進を目指すロータリーの使命を紹介することができます。

●「RVM:ロータリー・ビデオ・マガジン」により、人々の意欲を高め、感動を与えると同時に、ロータリーについて情報を伝えることができます。年に3回制作されるこのDVDには、世界各地の素晴らしいプロジェクトや人々を紹介する3〜4本の短編ビデオが収録されています。クラブ例会をはじめ、新会員のためのオリエンテーション、地元のケーブルテレビ番組などで、このビデオを放映したり、研究グループ交換参加者やクラブの卓話者、地元の図書館や学校にこのDVDを配るとよいでしょう (www.rotary.org/rvm)。

●DVD「人類のために活動します」は、テレビ用、ラジオ用、印刷用、インターネット用、看板用の公共奉仕広告を収録したもので、RIウェブサイトから無料でダウンロードできます。最新版に関する詳細は、第4ページをご覧ください (www.rotary.org/humanityinmotion)。



●「ロータリーの基本知識」(595-JA)は、RIやロータリー財団プログラム、会員の恩典と責務について簡潔に説明する資料で、会員の勧誘活動に役立ちます (www.rotary.org/rotarybasics)。

●ロータリーのニュースレターには、ロータリーのポリオ撲滅活動について伝える「今こそポリオ撲滅のとき」や、クラブや地区の印刷物ならびにウェブサイトに活用できる記事を掲載した「Weekly Update (毎週の最新情報)」などがあり、ロータリーのあらゆる側面が取り上げられています。ロータリーのニュースレターのリストから、役立つリソースをお探しいください (www.rotary.org/newsletters)。

インタラクティブな展示が RI本部に誕生

RI本部に新しく設置されたディスプレイにより、本部を訪れたロータリアンは、ロータリーの過去、現在、未来について、新しい方法で学ぶことができるようになりました。

本部17階にあるアーチC.クランフ・ソサエティ・ギャラリーの一角に備え付けられたタッチスクリーン式の画面で、来訪者は、アーチ C. クランフ・ソサエティのメンバーを検索したり、メンバーの肖像写真と略歴を閲覧することができます。また、ソサエティやロータリー財団について読んだり、ジョン・マジアベ財団管理委員長からの特別メッセージを聴くこともできます。

また、本部メインロビー南東部の一角には、20年以上にわたるポリオ撲滅活動でのロータリーの功績を紹介するポリオの展示コーナーが設けられています。この展示では、展示ケース2つとビデオが並べられているほかに、写真、説明文、ビデオが両面に備え付けられたパネルが6つ設置されています。「ロータリーの1億ドルのチャレンジ」に焦点を当てたパネルでは、ポリオ撲滅の実現まであと一歩であることが説明されており、ディスプレイに内蔵されたコンピュータを使ってオンライン寄付に協力するよう、呼びかけています。



RI本部のメインロビーで披露された「今こそポリオ撲滅のとき」の展示。

キリバスがロータリー家族 に新たに加わる

8月11日、エド・フタ(布田) RI事務総長がRI理事会を代表して、キリバス共和国、ライン諸島のキリティマティ・ロータリー・クラブの加盟を承認し、200以上の国と地域から成るロータリーの地図に新たな国が加わりました。

8月23日、南太平洋の8つの地域にまたがる第9920地区と米国から招待されたロータリアンとともに、35人の会員が、第1回公式クラブ例会を開きました。1週間の祝祭行事の一部として、キリティマティ・クラブの会員は、今後のプロジェクトについて調査するために学校と病院を訪問しました。この訪問に同行したのは、米国コロラド州のコマース・シティ・ロータリー・クラブの会員です。同クラブ会員は、以前にキリティマティ島(旧クリスマス島)で複数の世界社会奉仕プロジェクトを実施したことがあり、キリバスにロータリーを紹介する上で大きな役割を果たしました。

「ロータリーは、キリティマティ島の人々の生活を改善するために、前向きで重要な変化をもたらすでしょう」と話すのは、ルタ・ウアティオア・クラブ会長です。「ロータリーは、リーダーシップの象徴です。このリーダーシップを母国において実践しようと思っています」

キリバス共和国は、太平洋に3,800キロにわたって点在する33の島々から成り、その人口は、10万5千人以上です。キリバスには、ギルバート諸島、フェニックス諸島、ライン諸島の3つの主な行政区があります。

パキスタン首相が ポリオ根絶に向けての支援を 再宣言

去る8月19日〜21日、パキスタンで実施された全国予防接種日の初日に、サイヤド・ユースフ・ラザ・ギラーニ・パキスタン首相が「ポリオのないパキスタンを実現するためには、私たち全員がそれぞれの役割を全うしなければならない」と宣言した後、自らがイスラマバードの子供にポリオワクチンを投与して、この行事の幕開けを飾りました。

ギラーニ首相は、また、世界ポリオ撲滅推進計画を素晴らしい協同活動であるとし、世界保健機関、国際ロータリー、ユニセフ、疾病対策センターなど他団体との見事なチームワークを実証したパキスタンの地方保健省を称えました。

パキスタンにおける社会動員と活動の運営を支援する目的で、6月、ロータリー財団が世界保健機関とユニセフに590万米ドルを授与しました。ポリオの根絶に向けた同国の活動に対するロータリー・クラブからの支援も増えつつあります。

編集者注記

10月号第1ページ掲載のインドの地図に用いられた境界線は、国際ロータリーによる公式な支持や承認を意味するものではありません。RIは政治に関与しない団体として、国境問題については中立な立場にあります。この地図の掲載により誤解を招いたことを、深くお詫言申し上げます。ポリオ撲滅活動で成果をあげたウッタルプラデシュ州の位置を示すことが目的であった点をご理解ください。

カレンダー

1月

ロータリー理解推進月間

9〜10日

会長主催会員増強会議
フェニックス(米国アリゾナ州)

18〜25日

国際協議会
サンディエゴ(米国カリフォルニア州)

2月

世界理解月間

6〜7日

会長主催会員増強会議
カイロ(エジプト)

23日

ロータリー創立104周年記念日/
国際理解と平和の日

3月

識字率向上月間

6〜7日

会長主催会員増強会議
シンガポール(シンガポール)

9〜15日

世界ローターアクト週間

27〜28日

会長主催会員増強会議
ボルティモア(米国メリーランド州)

各種締切日

1月1日

クラブ会員の下半期報告の提出
締切日

1月30日

国際大会におけるクラブ・地区の
プロジェクト展示、世界ネットワー
ク活動グループ、各種委員会、支
援グループのブース申請書式の提出
締切日

3月1日

地区任命書式の提出締切日

3月6日

2009年RI国際大会における団体
予約用の宿泊者リストをバーミン
ガム・コンベンション・ビューロー
へ提出する締切日

3月15日

意義ある業績賞の推薦書式をRI
が受理する締切日(1地区につき
1部)

3月30日

2009年RI国際大会非公式関連
行事申込書をRIが受理する締
切日

3月31日

2008年RI国際大会割引登録の
最終日(この日を過ぎると当日
登録料が適用されます)。米貨
25,000ドル以下のマッチング・グ
ラントの申請書、地区補助金申請
書、3-H プロジェクト提案書の提出
締切日

6月1日

再編成された第4、第6、第10、
第13、第22、第26、第29、第30
ゾーンのガバナーは、ゾーンまた
はゾーンのセクションの2009-10
年度理事指名委員会委員を務める
各地区の理事指名委員の氏名を
提出しなければならない。委員
と補欠委員は、地区大会で選
出される

女優のミア・ファローとグドール博士がバーミンガムの基調講演者に決定

その他の基調講演者にシェルター・ボックスとPACEの創設者

6月に、英国、バーミンガムで開催される国際ロータリー第100周年大会で、世界で大きな影響力を持つ2人の人道活動家が基調講演を行うことに決定しました。

国際大会本会議で講演することになったのは、子供の権利提唱者である女優のミア・ファローさんと、著名な霊長類学者のジェーン・グドール博士です。

ユニセフ親善大使を務めるファローさんは、これまでポリオ撲滅活動に専念してきました。ポリオは、ファローさん自身も子供のときにかかった病気です。また、戦争で荒廃したダルフルを3度訪れたことがあり、スーダン難民が直面する問題への認識を高めるために努めてきました。

グドール博士は、チンパンジーの生息地に住み、25年間にわたり、チンパンジーの行動を観察してきたことで、世界中の人々に知られています。思いやりの心を通じて、すべての生き物が共生できる環境を築くことを目指し、グドール博士は、野生動物研究・教育・保護活動に取り組



ミア・ファローさん



ジェーン・グドール博士

む人々を育成するためのジェーン・グドール・インスティテュートを創設しました。

2009年国際大会のこのほかの基調講演者には、ロータリアンのトム・ヘンダーソン氏とディーパ・ウィリンガム氏も予定されています。

トム・ヘンダーソン氏は災害救援組織、「シェルター・ボックス」の創設者兼代表者です。世界各地のロータリー・クラブが支援する「シェルター・ボックス」は、これまでに45カ国の60万人に緊急避難テントを提供、してきました。

ディーパ・ウィリンガム氏は、「PACE Universal (Promise of Assurance to

Children Everywhere)」の創設者です。PACEは、インドや世界各地の恵まれない少女のために、教育や栄養、ならびに健康を改善し、少女たちが社会的、文化的にも発展していけるよう支援している団体です。



ウェブサイト

バーミンガム国際大会にウェブサイト
(www.rotary.org/convention)
から登録しましょう。

ロータリー世界平和シンポジウムでツツ氏とイゲランド氏が講演

バーミンガムで国際的な平和構築者の感動的なお話が聞けるのは、RI国際大会だけではありません。今年度のロータリー世界平和シンポジウムでは、南アフリカのデズモンド・ツツ元大主教とノルウェーのヤン・イゲランド元国連事務次長の基調講演が行われます。

6月18日と19日に開かれるこの大会前会議には、ロータリアンとゲストのほか、ロータリー世界平和フェローならびに学友が参加できます。参加者は、平和と紛争解決に関心のある人々と交流し、平和構築者が直面する課題や平和活動への参加方法について学ぶ機会を持ちます。

ノーベル賞の受賞者で、ケープタウンで初の黒人の大主教となったツツ氏は、アパルトヘイト撤廃運動で中心的な役割を果たしたことで世界的に有名です。77歳となった現在も、デズモンド・ツツ平和センターの共同創立者を務め、貧しく抑圧された人々の代弁者として活動しています。一方、人道問題担当の元国連事務次官で緊急援助調査官であったイゲランド氏は、ダルフル、ガザ、イラク、ウガンダを含む、世界で紛争が最も多発する地域をこれまでに訪問しています。現在、ノ



デズモンド・ツツ



ヤン・イゲランド

ルウェー国際問題研究所の所長を務める同氏は、「A Billion Lives: An Eyewitness Report from the Frontlines of Humanity」の著者です。



ウェブサイト

www.rotary.org/conventionから、
大会前会議に登録しましょう。

「未来の夢」試験的段階への参加申請手続き

新補助金モデルを試す「未来の夢計画」の試験的段階に参加したいと考えている地区は、申請手続きを始めてください。

申請書式は、1月27日に「会員アクセス」よりオンラインでご利用いただけるようになります。要請に応じて、印刷した書式もご用意できます。申請書の提出締切日は、5月15日となっています。地区は、参加申請を行う前に地区内クラブの3分の2の承認を得なければなりません。このため、地区ガバナーとクラブ会長が協力し、直ちにクラブの関心度を測る作業にあたるよう奨励されています。

ロータリー財団は、6月初旬に参加地区を発表し、英国バーミンガムで開かれる2009年RI国際大会でもこれらの地区を発表します。3年間の試験的プログラムは、2010年7月1日から始まります。

ロータリー財団の新補助金モデル、あるいはその試験期間についてのご質問は、newgrantspilot@rotary.org までEメールでお寄せください。また、www.rotary.org/futurevision の未来の夢「よく尋ねられる質問」もご覧ください。

クラブ相談室

半期報告書の正確を期すため、クラブがすべきことは何でしょうか。

まず、最新の半期報告書(SAR)の内容を確認してください。これは、1月1日付けで、全クラブ幹事宛に郵送されています。1月半ばになっても半期報告に関する郵便物がクラブに届かない場合は、Eメール(data@rotary.org)、またはファックス(1-847-733-9340)でご一報ください。その際には、クラブ名、ID番号、郵便あて先、ファックス番号を必ず添えてください。

最新の半期報告書の会員データを更新・訂正する場合は、遅くとも6月1日までに進行する必要があります。www.rotary.orgの「会員アクセス」からオンラインで更新できるのは、クラブ会長と幹事のみとなっており、アクセス権を得るには、まず登録しなくてはなりません。インターネットにアクセスできない場合は、「クラブ幹事要覧」(229)の「会員情報書式」にクラブ役員が記入のうえ、RIに提出してください。

6月1日の締切日までに行われた更新・訂正は次の半期報告書に反映され、7月1日に郵送される予定です。なお、7月1日の半期報告書に訂正を加える締切日は、12月1日となっています。

詳細は、www.rotary.orgの「Membership(会員)」セクションをご覧ください。

その他のお知らせ

2010-11年度の国際親善奨学金、世界平和フェローシップ、大学教員のためのロータリー補助金の申請に必要な資料が、地区奨学金小委員会委員長から入手できるようになりました。

クラブ会長エレクトは、会長エレクト研修セミナーの登録をお済ませください。また次期会長、幹事、会計、各委員会委員長は、地区協議会の登録をお済ませください。

12月31日が締切りとなっている2009-10年度Official Directory(公式名簿)に掲載するための情報書式は、現在も受け付けています。クラブはEメール(data@rotary.org)が「会員アクセス」を通じて、速やかに次期役員を報告してください。

「ザ・ロータリアン」誌では、毎年恒例の写真コンテストへの作品応募を受け付けています。3月1日までに、「超私の奉仕」の様子をとらえた2008-09年度の自信作をお送りください。コンテストの規約と応募のガイドラインについては、www.rotary.orgをご覧ください。

クラブ会長エレクトは、「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」のクラブ評価の欄に記入し、年次目標案を書き入れます。これらの案は、地区協議会で、クラブの会長エレクトと次期クラブ指導者がさらに検討を重ね、次期理事会から承認を得たうえで、7月1日までにガバナー補佐に提出すべきものです。

事務総長の覚書

未来の財団を築くために

ロータリー財団の未来の夢計画試験段階の参加申請手続きは、2009年国際協議会の直後に開始され、5月15日が締め切りとなります。この計画の参加地区として、約100地区が選ばれる予定です。参加地区の選考にあたり、管理委員会は、地理的要因や規模、財団プログラムへのこれまでの参加、寄付のレベルといった点のバランスを図るよう努めます。

試験的地区とそのクラブは、財団の将来の方向性を決めるうえで、重要な役割を果たします。新しい補助金構成を試した参加地区には、うまくいった点と改善が必要な点について報告する機会が与えられます。また、柔軟性を増した地区財団活動資金(DDF)の活用や、多大な影響をもたらす大規模なプロジェクトに参加する機会を享受できるだけでなく、定評ある企業や非営利団体と協力し合う可能性も生まれます。

地区は、地区内クラブの3分の2の承認がなければ、参加することはできません。従って個々のクラブが試験的プロジェクトに直接申請することはできなくても、それぞれの意見が地区の決定を左右することになるのです。クラブは「未来の夢計画」をどのようなかたちで奉仕目標に生かせるかを学び、試験的プロジェクトについてガバナーと話し合うよう奨励されています。

ロータリーのように息の長い団体の多くは、成功し続けていくカギが状況に応じて自己改革を行っていきける力にあることを理解しています。92年の歴史を誇るロータリー財団は、まさにそのような改革の時期を迎えています。試験的地区およびクラブが熱意をもって参加して下さるなら、私たちは未来の財団となるために必要な改革を実現することができるでしょう。


エド・フタ(布田)

ROTARYWORLD

ロータリー・クラブの世界的連合体である国際ロータリーの使命は、他者に奉仕し、高い倫理的基準を促進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進することである。

ロータリー・ワールドは9カ国語で年に4回、7月、10月、1月、4月に発行。

発行者:国際ロータリー、
One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue,
Evanston, Illinois 60201-3698, USA

ウェブサイト:www.rotary.org

ファックス:1-847-866-9732; 電話:1-847-866-3000

Eメール:data@rotary.org

購読料:年間米貨5ドル

住所変更は、古い住所ラベルに新住所、新郵便番号、クラブ名を明記して返送、または、変更をEメール(data@rotary.org)で返信してください。

ロータリー・ワールドで紹介できるクラブや地区の奉仕プロジェクトに関する記事のアイデアをお寄せください。プロジェクトの内容、高画質のカラー写真、連絡先を添えてEメール(rotary.world@rotary.org)でお送りください。多くの記事が寄せられるため、掲載できないプロジェクトもあることをあらかじめご了承ください。

本号はロータリー・ワールドの2009年1月号第15巻、第3号(ISSN 1079-7718)です。著作権 © 2009年国際ロータリー。

ロータリー刊行物とウェブサイトの編集者は自由に記事を再掲することができます。

編集責任者:Janis Young

編集主任:Jennifer Lee Atkin

グラフィックデザイナー:Karen Castens

翻訳:国際ロータリー日本語課

写真:Miriam Doan, Alyce Henson, Monika Lozinska-Lee

コピーエディター:Beth Duncan

校正:Kelly Doherty, Susan Hyland

本号編集関係者: Abby Breitstein, Deanna Cankar, Joseph Derr, Arnold R. Gahl, Ryan Hyland, Dan Nixon, Peter Schmidtko, Diana Schoberg, Antoinette Tuscano, Maureen Vaught

国際ロータリー、2009年RI国際大会ロゴ、インターアクト・クラブ・ロゴ、「夢をかたちに」ロゴは、国際ロータリーの登録商標および知的所有物です。無断複写・転載は禁じられています。

1月はロータリー理解推進月間

世界中でクラブがポリオの広報に貢献

ロータリーの1億ドルのチャレンジにスポットライトを当てるため、ロータリアンは、従来の手段と新しい手段を駆使して広報を行っています。

3,000米ドルのRI広報補助金を受けて、第9600地区（オーストラリア、パプアニューギニア、ソロモン諸島）は、5月26日から6月22日に、ポリオ・プラスを含むロータリーのプログラムについて、ブリスベン市内のバス8台を使って広報活動を行いました。地区が1,103米ドルを上乗せ寄付しているこの広報活動は、クイーンズランドのアシュグロブ/ザ・ギャップ・ロータリー・クラブ所属のテッド・ラッタ地区広報委員長が市から協力を得て実施されたものです。

「ラッタ氏は、これまでも常にロータリーのあらゆる話題を紹介してきましたが、ポリオ・プラスに関しては推進者として特に活躍しています」と、RI公共イメージ支援グループ・エリア・コーディネーターで、ビクトリアのアルベルト・パーク・ロータリー・クラブ会員のロリン・クラーク氏は述べます。

米国では、8月6日、メジャーリーグのフィラデルフィア・フィリーズの本拠地、シティズンズ・バンク・パークで対フロリダ・マリーンズ戦が行われた際に、45,000人もの野球ファンの中で、「今こそポリオ撲滅のとき」の公共奉仕広告が放映されました。始球式では、ロータリーの1億ドルのチャレンジ委員長、ジョン・ジャーム氏が投球しました。第7500地区と第7640地区により、毎年主催される「ストライクアウト・ハンガー（飢餓を三振に打ち取ろう）」の夜間イベントでは、大画面によるプレゼンテーションも行われました。今年のイベントでは、チケット販売を通じて、ロータリーのチャレンジに25,000ドル米ドルを超える寄付が集まり、地元の食糧バンクにたくさんの缶詰食品が寄せられました。

「まさに参加者全員にとって恩恵のあるイベントとなりました」とコーディネーターを務めた、チェリーヒル・ガーデンステート・ロータリー・クラブの会員、マーヴィン・アクスラー氏は話します。「フィリーズとは友好関係にあります」

ロータリー103周年記念に当たる2月23日、ロンドンのロータリアンは、英国下院に「今こそポリオ撲滅のとき」の広告を掲げました。この広報活動は、テレビ、ラジオ、印刷物などのメディアで大きく取り上げられ、ロータリーのチャレンジについても報道されました。

チャレンジ補助金を推進するための広報ツールは、ウェブ (www.rotary.org/ja) の「会員」ページからご覧いただけます。



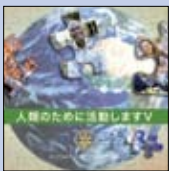
オーストラリア、ブリスベンで、ロータリーのポリオ撲滅活動について広報し、人々に支援を呼びかけるバスの車体広告。

会員増強とポリオ撲滅活動を推進する新たな広報ツール

ロータリーの世界公共イメージキャンペーンの次の段階として、「人類のために活動しますV」(607) が世界中のクラブに今月送付されます。4枚組みのDVDセットには、テレビ用、ラジオ用、印刷用、インターネット用、看板用の公共奉仕広告が収められています。

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からのチャレンジ補助金に応えるため、今年度の「人類のために活動します」DVDは、「今こそポリオ撲滅のとき」公共認識向上キャンペーンを推進する内容となっており、クラブ会員を増強させるためのリソースも収められています。ロータリアンは、これらのリソースを自分の文化や地域に合わせて活用するよう、奨励されています。

「人類のために活動しますV」の内容は、www.rotary.org/humanityinmotion からダウンロードできます。shop.rotary.orgから、このDVDを無料で追加注文できるほか、過去のDVDもお求めいただけます。



ウェブサイトの新しい機能で、ロータリアンが意見交換

Rotary.orgに新たな機能が加わり、多くのクラブが抱える問題に対し、会員が解決策を投稿できるようになりました。

「Your Voice, Your Solution (会員の声、あなたならどうする)」は、毎月、1つの質問を提示し、それに対しロータリアンがオンラインで答える形になっています。これまでに取り上げられた問題には、講演者が土壇場でキャンセルをしたときの対処、若い会員の勧誘、退会を望む会員との対話などがあります。退会に関して寄せられた意見は、どのようにして退会にいたるまでの状況を回避することができるか、という話し合いにまで発展しました（以下の「会員からのコメント」を参照）。

今後は、募金活動、広報活動、会員の積極的な参加が取り上げられる予定です。7月に英語で開始された「会員からのコメント」は、9月から、フランス語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語でも利用できるようになりました。



「Your Voice, Your Solution」で取り上げられている質問に対しては、www.rotary.org のニュースセクションから投稿できます。また、これまでの質問やご意見はアーカイブから検索することができます。

会員からのコメント

以下は、世界中のロータリアンから「Your Voice, Your Solution」に寄せられたコメントの一部です。

若い会員の勧誘について

「若い会員を勧誘する前に、彼らにとって魅力的なクラブを作り上げなければなりません。それには、画期的で楽しいプログラムが必要です」

「ロータリー・クラブは、スポンサーとなっているローターアクターの活動にもっとかかわっていくべきです。ローターアクターは、自分たちのことを尊重し評価してくれる団体の一員になりたいと考えています」

「新会員を勧誘する際に、ロータリーの利点について考えてみるとよいと思います。最も効果的な方法は、ロータリーの利点を10点挙げ、自分の時間とお金の代わりに何が得られるかを若い世代の人々に明確にすることです」

「日常的に接する人々の中から、才能に満ち、熱意を備えた若者を見つけたいです。彼らとの会話の中で、関心を引きそうなロータリー的话题を取り上げたり、例会に誘って感想を聞いてみるとよいでしょう」

「古い歌集はしまって、例会での歌もやめましょう。若者は、そういったことを時代遅れと感じ、入会したいと思わなくなるでしょう」

退会を希望する会員との対話について

「参加型プロジェクトに自分と一緒に加わるよう声をかけ、家族の参加も歓迎します」

「いっしょに昼食を取り、ロータリーについて語ります。ロータリーの歴史を知っている会員は、クラブにとどまり、貢献していく傾向にあります」

「退会時の面接で、50パーセントの出席規定について説明します。また、その会員のために理事会や委員会の会合、あるいは特別行事を開けば、自分が重要な存在であることをその会員は認識できるでしょう」

「私だったら、少しの間クラブから離れ、2カ月以内にまた連絡を取るようアドバイスしてみます。その会員は、クラブの友人との毎週の交流から得られる恩恵を改めて思い出すのではないのでしょうか」

「さまざまなプレッシャーがのしかかる今日、ロータリアンは激励を必要としています。私は、「超我の奉仕」を実践しながら、その喜びを分かち合うようにしています。退会について再検討するようロータリアンに頼んだことがあります。彼らの中には、クラブの一員であると感じていなかったと話していた人もいました。会員を維持したいのであれば、まずは彼らの友人とならなければなりません」

数字で知るロータリー

1,206,089 世界のロータリアン数* | 534 ロータリー地区数 | 33,114 ロータリー・クラブ数*
7,385 ローターアクト・クラブ数 | 169,855 ローターアクト会員数
11,695 インターアクト・クラブ数 | 268,985 インターアクト会員数
6,436 ロータリー地域社会共同隊 (RCC) 数 | 148,028 RCCメンバー数

*6月30日現在。それ以外はすべて2008年9月30日現在の数字。

専門家に聞く

キャラクター・リテラシーについて、またロータリー・クラブでこれをどのように推進できるかについて、教えてください。



この問いに、識字率向上支援グループのゼネラル・コーディネーター、リチャード・ハトウィック氏が答えてくれました。

ロータリーの掲げる価値観は、まさにキャラクター・リテラシーを具現化したものです。この実践的な英知を分かちあうことが、私たちからの最高の贈り物となるでしょう。

キャラクター・リテラシーを会得すると、善悪が見極められるようになります。

また倫理規範を理解して、これを受け入れ、思いやりの心、責任感、正義感、自制心を持って、人生のあらゆる側面に臨むようにな

ります。また、倫理的な問題の解決方法を学ぶだけでなく、最も重要な「超我の奉仕」の哲学をも学びます。

善良な資質を表す慣行の中心にあるのが、ロータリーの「四つのテスト」です。「有益な事業の基盤として奉仕の理想を鼓舞し、これを育成」というロータリーの綱領に込められた知恵は、仕事と人生の両方において最高の教えとなります。世界中の賢明な事業リーダーや専門職務リーダーであれば、誰もがこれに賛同してくれることでしょう。

集団生活を通して子供たちに望ましい資質を育もうとするのは、どこか家庭も地域社会も同じです。幼い子供たちは、親を手本とし、日頃見聞きする話題をはじめ、教会、学校、公園、課外活動から教訓を得て、それが人格の形成につながっていきます。

ロータリー・クラブは、地域社会でこのプロセスを助けるために、「四つのテスト」や私たちの第一標語「超我の奉仕」、第二の標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」、そしてロータリーの綱領を推進し、教えることができます。

このように重要なロータリーの原則を、作文コンテストやスピーチコンテスト、学校での道徳セミナーなどで推進しているロータリー・クラブが数多くあります。その一例として、ウェブサイトに掲載されている第5810地区やフォート・コリンズ・ロータリー・クラブ（米国コロラド州）があります。クラブは、キャラクター・リテラシー・プログラムを開発している外部の団体、Character Counts!, Laws of Life, BrainWiseなどに協力することもできます。

この分野の活動は子供を対象としたものばかりではありません。大人も職業奉仕プロジェクトを通じて、これらの原則を再認識する必要があります。つまり、キャラクター・リテラシーとは、大人になって、仕事につき、家庭を持ち、社会人として、またリーダーとして立派に生き抜いていけるよう、必要な知識と慣習を身につけることなのです。

3月は識字率向上月間

南アフリカの識字率向上を成功させた広報活動

第9300地区(南アフリカ)は、今後3年間に、クラブ会員、人脈、国際ロータリーが提供する広報材料など、ロータリアンなら誰でも活用できるリソースを駆使して、3百万冊以上の本をアフリカ南部に贈る予定です。

2007年5月以来、「Bury Me in Books」と呼ばれる識字率向上プロジェクトを通じて、およそ百万冊の本が、南アフリカ、スワジランド、ザンビア、ジンバブエの学校や図書館、ならびに刑務所に寄贈され、同プロジェクトの目標の約3分の1が既に達成されました。

米国のカリフォルニア州とテキサス州、ならびに英国のロータリー・クラブは、本を収集し、海外に送っています。これらの本は、南アフリカのベッドフォードビューにあるHumanitarian Distribution and Service Centerに保管されます。

「地元のロータリアンとそのほかのボランティアが、同センターで、毎日、本の仕分けと荷造りを行っています」と第9300地区のシャーリー・ダウニー元ガバナーは話します。このプロジェクトのパートナーである「ポストネット南アフリカ」も、本の仕分けと配達に協力しています。

南アフリカ放送協会とその財団、ならびに同放送協会が運営するラジオ局のケビン・ファイン氏もプロジェクトを支援しています。同プロジェクトは、ファイン氏が司会を務める週末の朝の番組、「ファイン・

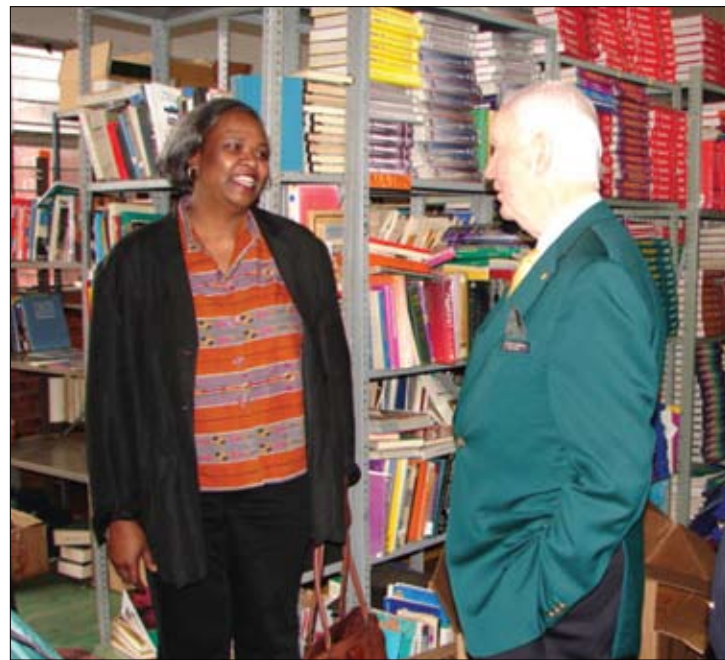
アンド・シャイン」、また南アフリカ放送協会が運営するその他のラジオ局やテレビ局で無料で広報が行われています。この放送の中で、英語のほか、コーサ語、ズールー語に吹き替えられたロータリーの公共奉仕広告、「人類のために活動します」が使われ、その費用は、ポストネットが賄っています。

広報により、プロジェクトの知名度も上がりました。「『Bury Me in Books』プロジェクトは、誰もが知るプロジェクトとなりました」と話すのは、ポストネットでマーケティング、通信、研修を担当し、ランドバグ・ロータリー・クラブの会員でもあるウェンディー・スウィートマン氏です。同氏はまた、このプロジェクトの名称が、第5890地区(テキサス州)のチャーリー・クレモンズ元ガバナーが掲げたチャレンジ、「bury us in books」にちなんでつけられたと説明します。

テキサス州のロータリー・クラブは、ベッドフォードビュー・ロータリー・クラブが開始した「Books for the World」プロジェクトの一環として、2001年から本を送っています。

ウェブサイト

このプロジェクトの詳細は、
www.burymeinbooks.co.zaからご覧いただけます。



第9300地区の書庫で、ウィルフリッド J. ウィルキンソン2007-08年度RI会長と話すジャッキー・ムグドゥルワ氏。同氏は、南アフリカ放送協会通信部のマネージャーです。ロータリアンの活動により、百万冊の本(1冊の本の価値は1米ドルに相当)がアフリカ南部に贈られました。

図書館プロジェクトが、ハイチの小島にインターネットをもたらす

ロータリー・クラブの国際的な活動とインターネットの募金活動のおかげで、ハイチ沿岸の小島にインターネットがもたらされました。

3つのロータリー・クラブ(ハイチのポルトープランス、プエルトリコのサンファン、米国、ジョージア州、サバナのスキダウェイ・アイランド)とサンファンのコモンウェルス・スクール・インターアクト・クラブが提携して、ハイチのゴナーブ島のマテンワに図書館を建設するための資金を提供しました。また、ロータリー財団のマッチング・グラントにより、ノートパソコン、本、その他の設備が図書館に備えられました。

ゴナーブ島には、電気も水道もありませんが、図書館の屋根の上の太陽電池パネルがノートパソコンの電力となっています。また、通信衛星によりインターネットへの接続も可能です。

毎週、近くのマテンワ・コミュニティー学習センターに通うおよそ240人の学生が図書館を利用しています。図書館はまた、ゴナーブ島で極貧生活を送る7千人以上の住民の情報源ともなっています。

「人間関係をはぐむプロジェクトを探していたんです」と話すのは、スキダウェイ・アイランド・ロータリー・クラブのウェルズ・フッド氏です。「このプロジェクトは、永続的な遺産を残す機会となりました」

フッド氏は2005-06年度にサンファンを訪れました。このとき、当時サンファン・ロータリー・クラブ会長を務めていたジョン・リチャードソン氏と意気投合し、互いのクラブに多くの共通点があることを発見しました。

両氏のクラブは、カリブ諸島で2つの協同プロジェクトを完了した後、マテンワにその焦点を絞りました。サンファン・ロータリー・クラブは、ハイチで以前に社会奉仕活動を行った経験があります。また、同クラブがスポンサーとなっているインターアクト・クラブは、毎年、ハイチのために募金活動を行っています。サンファン・ロータリー・クラブが資金の上乗せをしているこの募金活動で、インターアクト会員は、2006-07年度に7千ドル以上を集めました。

同じ時期、リチャードソン氏は、マテンワ・コミュニティー学習センターの共同責任者を務めるクリス・ロウ氏とも出会い、地元住民が図書館の建設を望んでいることを聞きました。そこでポルトープランス・ロータリー・クラブを実施国クラブとしてマッチング・グラント・プロジェクトが実現されたのです。

「フッド氏と私は、互いの長所を生かして効果的に活動することができました」とリチャードソン氏。「彼がプロジェクトの実行計画を担当し、私が補助金の手配を担当しました」



「人間関係をはぐむプロジェクトを探していたんです。このプロジェクトは、永続的な遺産を残す機会となりました」

ウェルズ・フッド

引用に値する言葉

「『ポリオのない世界』というロータリーのビジョンと、この挑戦におけるロータリーのリーダーシップがなければ、ポリオ撲滅推進活動は決して実現しなかったでしょう」

— 米国疾病対策センター局長、ジュリー L. ガーバーディング博士、2008年RI口サンゼルス国際大会にて

2月は世界理解月間



世界各地から訪れた青少年は、音楽には国境がないということ、米国、サンディエゴで実施された青少年交換音楽合宿で学びました。

音楽を通じた和やかな交換

若い音楽家を米国のサンディエゴに集めるロータリー地区のプログラムは、音楽がまさに世界共通語であることを証明しています。

「MusiCamp」と呼ばれる、第5340地区の短期青少年交換プログラムにより、イタリア、ポーランド、トルコ、ベネズエラを含む14カ国出身の学生20名が、8月にサンディエゴ・ユース交響楽団の音楽家20名とともに練習し演奏するために訪米しました。

「音楽からいろいろなことが生まれます」と話すのは、プログラムの創設者で、コロナド・ロータリー・クラブのビル・スタージョン氏です。

「彼らは、国境を越えた共通語、すなわち音楽を通じて対話しています」

スタージョン氏は、1990年代初めから、青少年交換に携わっています。海外から学生を招いた合宿プログラムがヨーロッパで実施されていることを知り、サンディエゴで地区青少年交換夏季合宿を始めました。スタージョン氏の合宿プログラムには、音楽の才能に恵まれた多くの学生が参加しました。大成果を収めたこのプログラムに続き、同氏は、もっと多くの若者が参加できる特別音楽合宿プログラムを開始することを決めました。スタージョン氏の説明によると、サンディエゴ・ユース交響楽団の理事長が、この音楽合宿プログラムを恒久的なプログラムとすることに関心を示し、2005年に「MusiCamp」が生まれました。

この音楽合宿プログラムへの申請希望者は、オーディション用に演奏を録音したものを提出しなければなりません。交換学生は、現地に到着後、サンディエゴ・ユース交響楽団とともに2週間の集中練習を行い、最終的には地元の人々の前で演奏します。また合宿の3週目には、サンディエゴ地域で文化活動に参加します。交換は、若い音楽家の交換学生が、およそ6つのロータリー・クラブの家庭に滞在し、逆にサンディエゴの青少年が、ヨーロッパの合宿に参加する、という形態で行われています。

「若者たちは、すぐに打ち解けました。すばらしいことです」とスタージョン氏。「彼らは、これから一生、友好を深めていこう」

交換のためのアイデア

青少年交換の実施を考えている方のために、ホストファミリー探しのアイデアをご紹介します。

- ロータリアン以外の家庭を推薦するようロータリアンに求める。
- 青少年交換学友の家族にホストファミリーとなってもらうよう尋ねる。
- 地元のPTA(保護者会)を対象に、青少年交換についてプレゼンテーションを行う。

詳細は、shop.rotary.orgから入手可能な「青少年交換要覧」(746-JA)をご覧ください。2008年に新しくなったこの資料は、青少年交換の実施に関する情報を、クラブと地区の青少年交換役員と委員会委員に提供しています。

生殖保健プロジェクトによりロシアと米国の地区が結束

ロシアでは、さまざまな健康問題が人々の生殖に関する健康と寿命を脅かしています。1980年代後半以来、国内の死亡率が3割以上増加しているロシアでは、人口が減少の一途をたどっています。西ヨーロッパ諸国では、妊婦の死亡率が十万人中10人未満であるのに対し、ロシアではその割合がこの3倍近くにも及んでいます。また、ロシア人男性の寿命は、西ヨーロッパ諸国の男性より、20年近く短くなっています。アルコールの乱用、栄養不足、性感染症はすべて、乳幼児の高い死亡率、先天異常、不妊の原因につながっています。

米国コネチカット州とマサチューセッツ州のロータリアンは、アムハースト・ロータリー・クラブ会員でマサチューセッツ州議会議員を務めるエレン・ストーリー氏を通じて、この危機について知りました。ストーリー氏は以前に、ロシアのプスコフに旅行したことがあります。同氏からロシアでの状況についての報告を聞いたアムハースト・クラブは、プロジェクトの実施に踏み切りました。同プロジェクトでは、寄贈された、あるいは修理された医療機器がロシアに送られました。

このプロジェクトがきっかけで、プスコフ・ロータリー・クラブが結成されました。

結成以来、このクラブは、ほかのヨーロッパ諸国と米国の提唱クラブとともに、財団が支援する複数のプロジェクトを成功させることができました。

同クラブのプロジェクトは、2007年にも引き続き行われ、性と生殖に関する初の大規模教育プログラムが、都市部の青少年を対象に立ち上げられました。第7890地区と第7950地区（マサチューセッツ州とロードアイランド州）からの寄付と、財団からのマッチング・グラントにより、およそ25,000米ドルの予算が集められ、この資金で、カウンセリングと、診療所で使用するための研修資料の制作費が賄われました。

マサチューセッツ州のロータリアンが州議会議員や保健専門家と提携してプログラムの計画にあたり、プスコフ・ロータリー・クラブの会員は、地元医師や公衛生当局に働きかけ、協力を得ました。ロシアと米国のロータリアンがプスコフの医療施設で会合を持ったり、米国のロータリアンがロシア人医師一行を自宅でもてなしたりしました。

このプロジェクトにより、社会奉仕が達成されただけでなく、今後プロジェクトを行っていくための強力なネットワークと強固な基盤が築き上げられました。



米国マサチューセッツ州とマサチューセッツ州議会上院から、ロシア、プスコフでの取り組みを称えられた第7890地区と第7950地区のロータリアン。左から：アムハースト・クラブのロータリアン、G. ブルース・マクルニス氏、スタン・ローゼンバーグマサチューセッツ州議会上院議員、ジェームズ・ダズザ第7890地区ガバナー、トーマス・コールマサチューセッツ州アムハースト学長、ジャン・ルジンスコフ市長、グエン・ブライヤー2006-07年度アムハースト・クラブ会長。

「ロータリーの力がいかに偉大であるかがよくわかります」と、第7890地区ガバナーのジェームズ P. ダズザ氏は話します。「両国の熱心なロータリアンと地域社会のリーダーたちの協力のおかげで、2002年

に始まった小規模なプロジェクトが、健康問題に取り組み、プスコフの人々の命を救うような、大規模なプロジェクトへと発展しました」



マッチング・グラントによるカンボジアの水プロジェクトの完了を祝うカンボジアと台湾のロータリアン。チン・シェン・リー地区ガバナーとバンタイ・プロム元会長（前列、左から4番目と6番目）も参加しました。

カンボジアと台湾のクラブがチームとなって清潔な水を提供

22,700米ドルをかけて実施された水プロジェクトにより、カンボジアの北西部に住む350世帯以上が、80基の手押し井戸から清潔な水を利用できるようになりました。カンボジア、台湾、タイにまたがる第3350地区、第3460地区、第3490地区の14クラブが、ロータリー財団のマッチング・グラントを使用して、このプロジェクトを支援しました。

12月に最後の井戸が掘削されましたが、それまで村人は、川と池から水を汲んでいました。カンボジア計画省によると、清潔な飲料水を利用できるのは農村地域の40パーセント以下の人々と、カンボジア国内の極貧農村地域に住む10パーセントに満たない人々です。

カンボジアのシェムリアップ・アンコール・ロータリー・クラブの元会長で、プロジェクトを主導したバンタイ・プロム氏は、村人が井戸の水を野菜の栽培や調理に使ったり、飲料水として利用していると話します。またこのプロジェクトを通じて、井戸を利用できない家庭に80台の浄水器が提供されました。

さらにプロジェクトの一環として、井戸の管理方法や清潔な水に関する健康面での効果を村人に教えました。シェムリアップ・アンコール・ロータリー・クラブは、ラジオ放送を流したり、家庭を直接訪問したりし

て村人を指導したのです。今月、提唱クラブによって、無料の医療サービスキャンプが開かれます。これに際し、台湾の板橋北ロータリー・クラブのチン・シェン・リー地区ガバナー・エレクトとその他のロータリアンが、プロジェクトによって設置された井戸を訪れるために、1日かけて、遠隔地の農村に向かうことになりました。車を運転できないような場所では、

彼らは歩かなければなりません。

結成されてから2年のシェムリアップ・アンコール・ロータリー・クラブは、井戸の掘削工事を請け負った地元の会社の監督を担当しました。このプロジェクトは、同クラブにとって課題の多いプロジェクトでありましたが、報い多きものでもありました。「雨季の間は、村に機材を運んでくるのが困難でした。でも、私たちはベストを尽くしてやり遂げました」とプロム氏。「会員の熱意があつてこそ可能になったのです」

清潔な水を利用できるのは、カンボジアの農村地域の40パーセントに満たない人々です。カンボジア計画省

数字で知るロータリー

- 不衛生な水と不十分な衛生設備や劣悪な衛生状態により、世界で毎日、5歳以下の子供たち5千人が命を落としています。この数は、年間では180万人以上に上ります。
- 下痢性疾患の88パーセントの原因は、汚染水と不十分な衛生設備や劣悪な衛生状態です。
- 世界的に見ると、下痢で命を落とす人の数は、結核あるいはマラリアで命を落とす人の数より多くなっています。下痢

で亡くなる子供の数は、エイズで亡くなる子供の数の5倍です。

- 世界中で毎年、下痢が原因で亡くなっている子供の数は、ロンドンとニューヨークに住む5歳以下の子供の数を合わせたものに等しい数となっています。
- 水と衛生プロジェクトに寄せられた1米ドルの寄付により、3〜34ドル分の恩恵がもたらされるとされています。

「ユニセフ、世界保健機関 (WHO) の情報による」

非暴力の社会形態を築き上げるために平和研究プログラムを開始したロータリー・センター学友

ナニ・マハンタさんは、インド北東部で横行する暴力を深く懸念しています。インド北東部では、テロと民族紛争が原因で、銃撃や列車の爆破が絶え間なく起きています。マハンタさんは、インド北東部8州のうちの1つ、アッサム州の出身です。同州では、暴力による民間人犠牲者の数がインドで最高となっています。

状況を極めて難しくしているのは、アッサム統一解放戦線である、とマハンタさんは言います。アッサム州がインドから独立することを目指すこのグループは、インド政府によりテロ組織とみなされています。

2002-04年度ロータリー世界平和フェローとしてカリフォルニア大学バークレー校で学んだマハンタさんは、インド北東部の状況に対応するため、非暴力の社会形態を築き上げようと努力しています。マハンタさんは、アッサム州のガウハティ大学の准教授であり、自ら設立した平和と紛争解決研究プログラムのコーディネーターです。

インド北東部の社会的・政治的問題を解決するには、教育が不可欠であると信じるマハンタさんは、自身の講義の中で、民族性、人権、平和と紛争、経済発

「対話、制度の構築、人間の安全の確保を通じて、相互の違いを受け入れ、紛争を解決していこうとする取り組みなのです」

ナニ・マハンタ

展、環境、文化、ジェンダー、子供の問題について生徒に教えています。アッサム州での暴力について講義するために米国に招かれたことも何度かあります。

「バークレー校への留学によって、平和と紛争解決研究がインドで非常に大きな意味を持つことがわかりました」とマハンタさん。「一晩で平和を実現しようというのではありません。これは、社会の資源を有効利用しながら、意義ある目標を達成しようとする試みであり、対話、制度の構築、人間の安全の確保を通じて、相互の違いを受け入れ、紛争を解決していこうとする取り組みなのです」



インド、アッサム州のガウハティ大学で平和研究の授業を行う元ロータリー平和フェローのナニ・マハンタさん。

クラブ財団がポリオ撲滅の募金に貢献

ロータリー・クラブと地区の各財団が、世界的なポリオ撲滅をめざし、ロータリーの1億ドルのチャレンジへの資金集めに重要な役割を果たしています。

「これまでロータリー財団は、このような組織をロータリアンからの寄付を競う競合相手とみなす傾向がありました。私はこの考え方を変えたいと思うのです」と、ジョナサン・マジアベ財団管理委員長は2008年国際協議会で述べました。「競争相手ではなく、パートナーとしての関係に発展していけることを願っています」

カナダ、オンタリオ州のナイアガラ・フォールズ・ロータリー・クラブは、6月にナイアガラ・フォールズ・ロータリー財団がロータリーのチャレンジに25,000カナダ・ドルを寄付したとき、パートナーとしてのアプローチをとりました。第7090地区（米国ニューヨークとカナダ、オンタリオ）のポリオ撲滅委員でもある同クラブ会員のロン・メルグル氏は、今後3年間でこの資金に組み合わせるための寄付を行うよう、クラブに求めたのです。

4月には、米国オハイオ州のウエスター・ロータリー財団が、ウエスター・ロータリー・クラブを代表し、ロータリーのチャレンジに4,845米ドルを寄付しました。地元に住む元ポリオ患者、ジェームス・ストラウブさんから車の寄贈を受けたクラブの財団は、この車を競売にかけ、資金を集めました。

また、米国テキサス州ヒューストンのウエスト・ユー・ロータリー・クラブからも2007-08年度のロータリーのチャレンジに向けて19,836米ドルの寄付がありました。これには、ウエスト・ユー・ロータリー・クラブ財団からの上乗せ資金5,000米ドルが含まれていました。

第5890地区でポリオ・プラス小委員長を務めるテリー・ジューグラーさんは、「始めは数百ドルを集める小さな活動でしたが、クラブやクラブ財団、ロータリー財団（ポリオ・プラス・パートナー*）から上乗せ資金をもらえることを知ると、資金集めに一気に火がつかしましたよ」と語りました。

*編集者注：ポリオ・プラス・パートナーへの寄付は終了しました。



米国テキサス州ウエスト・ユニバーシティ・プレイスで行われた7月4日の独立記念日を祝うピクニックで、「End Polio Now (今こそポリオ撲滅のとき)」の横断幕を掲げるウエスト・ユー・ロータリー・クラブの会員。会員はポリオ撲滅をめざすロータリーの世界的な活動について住人に伝えました。

元国際親善奨学生のおかげで、ネパールの子供たちが笑顔に



元国際親善奨学生で、カトマンズの国民歯科病院の常任理事を務めるサブナ・マラさん。ネパールの農村地域で無料の歯科教育を提供しようと国民歯科病院の活動に参加しています。

政治闘争と変革のさなかにある母国ネパールで、元ロータリー財団国際親善奨学生のサブナ・マラさんは、人々に安心感と笑顔をもたらしています。カトマンズの歯科医であるマラさんは、ロータリー財団から援助を受けて設立された国民歯科病院と歯科口腔外科国民センターの常任理事を務めています。

スコットランドの第1020地区と英国の第1030地区および第1190地区からの支援により、2002-03年度国際親善奨学生となったマラさんは、スコットランドのダンディー大学歯学部で学び、ヨーロッパで口唇裂と口蓋裂の手術の最高峰と言われる専門家の下で指導を受けました。

その後、マラさんは国民歯科病院の常任理事に任命され、20名の歯科医と50名のアシスタント職員を管理しています。この病院では、毎年、9,000人から11,000人の患者に、歯科治療一般、歯列矯正、義歯治療を提供しています。マラさんは歯科口腔外

科国民センターの常任理事でもあります。このセンターは、ロータリー財団の保健、飢餓追放および人間性尊重（3-H）補助金から175,000米ドルの支援を受けて、カトマンズ・ロータリー・クラブとスコットランドのピーブルズ・ロータリー・クラブの合同プロジェクトとして創設されました。同プロジェクトには第1020地区も援助を提供しました。

昨年完了したプロジェクトの第2段階では、最新の医療機器を購入しました。2003年にセンターが設立されたことは病院にとって大変画期的な出来事であったというマラさん。センターはこれまでに800人以上の子供たちを助け、支払い能力のない人々にも治療を提供してきました。

奨学金を提供し、これらの病院を援助してくれるロータリーに深く感謝しているマラさんは、留学経験のおかげで「母国での取り組みに改善をもたらすことができた」と話しています。

プログラムに触発され 平和フェロシップ基金を設立



ウィルフォード夫妻

ロータリー財団での体験をきっかけに、ジェリー・ウィルフォードさんと妻のゴールディーさんは、財団プログラムを通じて未永く人々の生活を豊かにしていきたいと願うようになりました。

「1994年に研究グループ交換チームリーダーとしてオランダを訪れてから、財団に密接にかかわるようになりました」と話すウィルフォードさんは、米国ミズーリ州チリコシー・ロータリー・クラブの会員で第6040地区の元ガバナ

ナーです。夫妻は、タンザニアの小学校に水を提供するマッチング・グラントでも財団を支援した経験があります。それはブリスベンで開かれた2003年国際大会の講演者から話を聞いてのことでした。

最近では、2つのロータリー世界平和フェロシップ基金を設立しました。「平和フェロに直接会ったこともありますし、このプログラムに大変満足しています」

設立された基金の一つは「ディック・アンド・ドリス・バーネット・ロータリー世界平和フェロシップ基金」と名づけられました。友人で、良き先輩、また「常に他人のことを第一に考える、真のロータリアン」のバーネット氏は、RI元理事でもあります。バーネット夫妻は、既に夫妻の名前を冠した平和フェロシップを別に設立しています。

「世界70カ国以上を旅行する機会があり、世界をより深く理解できるようになった」とウィルフォードさんは話します。「財団の一員となり、ロータリアンからの寄付によってこれほど多くの人道的功績が達成されたことを大変嬉しく思います」

マラリア対策に焦点を当てたGSEが 未来の夢計画の交換モデルに

ザンビアとジンバブエから5人の医師から成る研究グループ交換チームが、パプアニューギニアとオーストラリアを訪れマラリアの監督体制を視察しました。この交換は、ロータリー財団の未来の夢計画の下でどのように交換プログラムを実現できるかを検証する例となりました。

3月、第9210地区の医師が、第9600地区のロータリアンや医療関係者に会い、各地域におけるマラリア対策プログラムについて学びました。交換グループは、マラリアが既に撲滅されているオーストラリアにて、マラリアの新薬やワクチンの開発研究が進められている臍帯血バンクと研究施設を見学しました。

「人生が大きく変わるような体験でした」と言うのはジンバブエのマイケル・リード医師です。「たとえば言うなら、医学というの

はさまざまな方言を持つ一つの普遍的な言語のようなものだと思います」

マイケル・リード 医師

ザンビアのカルシ・ロータリー・クラブの会員で、チームリーダーを務めたムワンガラ・ムエンデクワさんは、ザンビアとパプアニューギニアの両国でマラリアが主な死因の一つとなっているものの、マラリアを引き起こす寄生虫の種類が違うことを知りました。「2つの地区で、マラリアへの対策と治



マラリア対策を調査するため、パプアニューギニアとオーストラリアを訪れ保健関係者と交流したザンビアとジンバブエの医師たち。

療が全く同じではないことがわかりました」と言うムエンデクワさんは外科医です。

これは、未来の夢計画の新しい補助金モデルの下で、どのようにして交換が行われるかを示す良い例です。研究グループ交換プログラムは終了となりますが、地区は今後もロータリー財団新地区補助金またはグローバル補助金を通じて職業研修チームを結成し、これに資金援助を行うことができます。グローバル補助金モデルでは、重点事項に当てはまる一分野で働く専門職務従事者が集まってチームを作ることになります。その重点事項とは、平和と紛争予防/紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生施設、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展の6分野です。